

佐土原 R C
週報



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

Real Happiness is Helping Others
ごとの幸福は人助けから

世界理解月間

1993. 2. 26 (金) 第258回例会
1. 点 鐘
 2. ロータリーソング「手に手つないで」
 3. 「四つのテスト」唱和
 4. 食 事
 5. 会長の時間
 6. 幹事報告
 7. 各委員会報告
 8. 会員増強フォーラム
 9. 点 鐘

第257回例会記録
(1993. 2. 19)

会長の時間 岩切正司

皆さん今日は、本日は第257回例会です。
2月28日は、宮崎市のシーサイドホテル・フェニックス旭の間において、1992~93年度RI第2730地区宮崎県中部分区のIMが開催されます。テーマは「社会奉仕」と「拡大増強」です。当クラブから7名出席することになっていますが、ロータリーの勉強のためにできるだけ多数出席していただきますようお願いいたします。

幹事報告 藤堂孝一

1. 例会変更の通知は来ておりません。
2. ガバナー月信2月号を配布しました。
3. 来る2月28日のIMの参加者の確認をしますので、幹事まで連絡してください。
4. 宮崎県国際交流協会より2月のサロンの案内が来ています。

5. 濱田会員が交通事故のため河野整形外科に入院されています。本日、会長・幹事で見舞いに行ってきます。

出席報告 委員長 神宮寺 利夫

会 員 数	16名
欠 席 者 数	0名
HC出席者数	16名
出 席 率	100%

ビジター

西部RC 阿万英也君
" 平岩七郎君

会員卓話 2/19(2) 児玉武文

監査役の任命権は形の上では株主総会にあります。しかし、その前提として、株主総会の議題を決定するのは取締役会であります。その議題のなかで監査役候補の選定も協議されるわけですから、わが国では監査役の純然たる外部的監査が確立しているとは言い難い点があります。
監査役は必ず役員会に出席します。ただ、監査役の立場からの意見の開陳はできるが、採決に加わることはできません。議事録・決算報告書等にはすべて署名、捺印します。これは監査役の責任の重要性に基づくものです。

私の場合は、会社の全体会議(月1回程度)にも出席し、現況把握や意見交換に努めています。社内の稟議書(例えば土地購入に関する)の閲覧等を通じて、会社の業務の実態を監査するための手段も講じています。

事務局〒880-03宮崎県宮崎郡佐土原町大字西上那珂5632(有)藤堂産業内☎0985(74)2562

会長 岩切正司・副会長 児玉武文・幹事 藤堂孝一・会計 柳田光寛・会報責任者 垂水敏雄

また、必要に応じて子会社の財務状況の監査も行っております。

日本では代表取締役の権限が絶大ですが、アメリカでは株主のためになることをしないと、会社役員の任免権を行使できます。

アメリカにおける日本企業の訴訟問題が生じている理由は何かといいますと、アメリカには知的所有権を尊重する基本理念が企業の原則になっているからです。

アメリカは、最初に考え出し、作った人の権利の保障を大事にする国です。ところが日本は経済的後進国でしたので、外国や他人が考えたことを真似して作ることに對しては、できるだけ規制を緩和していました。我が国の産業を急速に発展させるためにやむをえなかった措置であったのかと思えます。

もう一つの理由は、アメリカでは訴訟費用が極めて安く、経済行為に対する訴訟は100ドルもあればできます。

そして、訴訟に勝つと、受けた損害額の3倍を相手から賠償してもらうことができます。従って、勝つという自信があるときは必ず訴訟を起こします。

弁護士の数も、日本は12,000人なのにアメリカは750,000人もいます。我が国では訴訟費用が高すぎるため容易に訴訟に持ち込むことはできませんが、アメリカでは何時でも訴訟が起こせるのです。

このことを念頭に置いて、今後日本の企業は外国で争いを起こさない、少なくとも訴訟には持っていかせない対応の仕方を考えていかなければならないと思います。商品開発の努力とともに。

会 員 卓 話 山 脇 忍

動脈硬化症について

1. 動脈硬化症について、

動脈硬化には、加齢に基づく生理的な動脈硬化と、種々の危険因子（リスク・ファクター）の集積によっておこる病的な動脈硬化とに分けることができる。
加齢に基づく生理的な動脈硬化は一種の老化現象であるので、これを治療することはむづかしい。

一方、危険因子の集積によっておこる病的な動脈硬化は若年者にもみられるもので、危険因子を積極的に除去するよう努めることが予防及び治療上必要である。

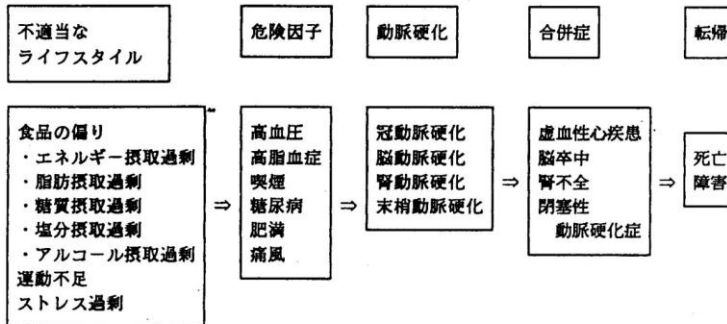
2. 動脈硬化症の危険因子

動脈硬化症を進行させる因子が危険因子（リスク・ファクター）と呼ばれるものである。
動脈硬化症の危険因子には数多くの因子がある。脳動脈硬化症と冠動脈硬化症の危険因子には多少の相違はあるが多くの因子は共通している。

危険因子

- ①性 ②年齢 ③高血圧 ④高脂血症 ⑤喫煙 ⑥肥満 ⑦糖尿病 ⑧痛風（高尿酸血症）
⑨ストレス ⑩遺伝 ⑪運動不足 ⑫低HDL血症

3. 危険因子と動脈硬化症の作る悪循環



4. 高脂血症の検査値とその意義

〔採血は早朝空腹時で前日のアルコール摂取は禁止する〕

- ①血清総コレステロール、
a. 220mg/dl以上を高脂血症とする。
b. 250mg/dl以上の場合には家族性高コレステロール血症を疑う。
c. 合併症をもっていたり、虚血性心疾患の家族歴がある場合は治療域を200mg/dl以上にするをを求める意見もある。
- ②中性脂肪（トリグリセライド）TG
a. 150mg/dl以上を高TG血症とする。
b. 1000mg/dl以上の場合には膵炎発症の可能性を考慮する。
- ③HDLコレステロール
a. 40mg/dl以下を異常とする。
b. 100mg/dl以上の場合には高HDL血症と考え動脈硬化所見をみる。
c. 低値は動脈硬化の独立した危険因子となりうる。

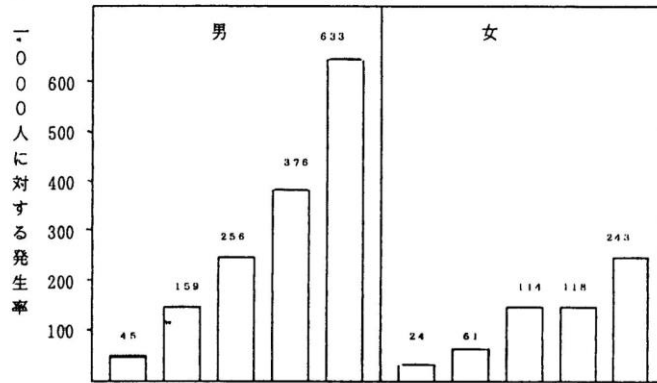
④LDLコレステロール

a. (血清総コレステロール) - (HDLコレステロール) × 1/5 (トリグリセライド) で算出。

b. 140mg/dl以上を動脈硬化への危険因子として異常と考える。

総コレステロール、トリグリセライド、HDLコレステロールは高脂血症の有無、程度を知るための最初の検査であり、通常この値を観察すればよい。

5. フラミンガム研究(18年間追跡調査)



年齢45才の男女で血圧が150mmHgに一定したもので、血清総コレステロール値、耐糖能異常、左室肥大を合併すると虚血性心疾患の頻度が増加する。

6. 高血圧と動脈硬化

高血圧が心臓血管障害などの循環器病の重要な危険因子であることはよく知られている。長期観察の成績によると、収縮期血圧が上昇するほど男女とも脳の粥状硬化性血栓性梗塞、虚血性心疾患による死亡率が増加している。

中壮年者における虚血性心疾患による死亡率は、収縮期血圧が180mmHgになると120mmHg以下の群と比べて、男性で3倍女性で5倍となる。

脳の血栓性梗塞による死亡率は中壮年者でも高血圧になると急激に増加し、特に老年者では発生率が著しく増加する。

また耐糖能異常、高脂血症、喫煙といった危険因子があれば高血圧の影響は増大することが示されている。

7 喫煙と動脈硬化

喫煙は粥状動脈硬化の発症、進展を進める最大のリスク・ファクターの一つである。タバコには多くの物質が含まれているが、このうち動脈硬化に影響を与えるものは主としてニコチンと一酸化炭素(CO)である。

高コレステロール血症がある場合に、喫煙が動脈硬化を特に顕著に進展させ、心血管病の発症につながる。

喫煙習慣は、やめれば高血圧に匹敵する疾患が完全に治癒したと同じ効果がある。高脂血症、糖尿病が存在するときには喫煙は特に動脈硬化の進展を加速する。

8 肥満と動脈硬化

肥満者には危険因子が多数重なり合うことが、正常体重者よりも約3倍も冠状動脈硬化症を起こしやすい。

肥満に合併する危険因子は高脂血症、高血圧、糖尿病、高尿酸血症などがあげられる。

9 ストレスと動脈硬化

ストレスとは生体がさらされる身体的、精神的、社会的な刺激に対して生体の中で生じる反応とされている。

ストレスが長時間持続すると自律神経系や内分泌系に影響を与え、高血圧症や高脂血症を惹起し、動脈硬化巣の形成につながると考えられる。

10 アルコールと動脈硬化

アルコールの過剰摂取は血圧の上昇を介して動脈硬化病巣形成に促進的に働くと考えられている。長期飲酒では血清TG(中性脂肪)の増加がみられることが多い。

適量のアルコール摂取者では冠動脈硬化のリスクが低く、大量摂取者では反対に硬化のリスクが高い。

「適量」はおおよそビールなら1本、ウイスキー&ブランデーならダブル1杯、日本酒なら1合を限度とした量である。

11 運動不足と動脈硬化

体力や身体活動などが低下すると虚血性心疾患の危険因子である高血圧、低HDL血症などを伴うので、結果的に動脈硬化を合併しやすい。

特に運動不足の状態にあると低HDL血症を伴いやすくなり、動脈硬化を進展させる可能性がある。

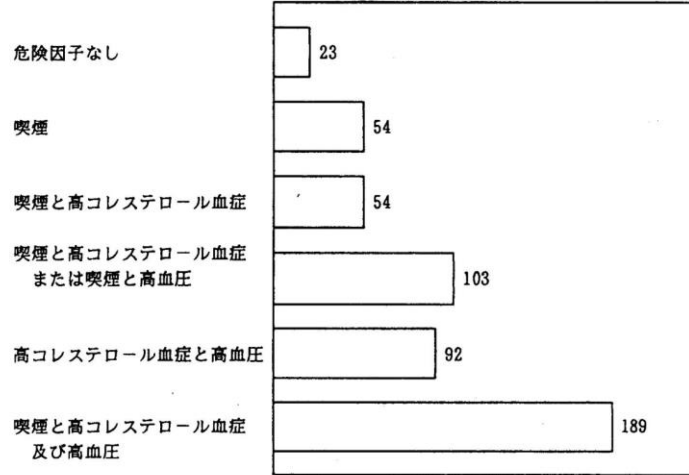
運動量は個人差があるので一概に示すことはできないが、

普通の歩行で時間は20~40分、頻度は3~4回/週、とされている。

重要なことは継続させることであり、特に高齢者においてはより長期の継続がないと効果が現れない。

12 喫煙と虚血性心疾患

1,000人に対する発生率



3大危険因子の組み合わせと10年間の重症虚血性心疾患の発生率
30~59才:男 高コレステロール血症>250mg/dl
高血圧(拡張期血圧)>90mmHg